

胎児性水俣病患者たちは 今

出生、苦難、希望、自立…そして



60年ほど前、生まれながらにして水俣病患者だった子供たちがいます。胎児性水俣病の人たちです。

猛毒の水銀が、お母さんの胎盤を通して胎児の体を蝕んだのです。水俣病悲劇の象徴とされた彼らの多くは還暦を迎えました。

「水俣病」が環境問題から社会問題へと変貌する中で、ひたむきに生き抜いた胎児性患者の存在は、便利さを追い求め続ける人類への警鐘でもあります。胎児性患者たちが自らの人生を語ります。

日時

平成30年 **11月3日** (土・文化の日)
13:30～15:00(受付13:00)

場所

長崎県立大学 シーボルト校中央棟M103講義室

講師

永本 賢二 氏 (胎児性水俣病患者)
松永 幸一郎 氏 (胎児性水俣病患者)
加藤 タケ子 氏 (社会福祉法人さかえの杜代表理事・統括施設長)
村上 雅通 (長崎県立大学 国際社会学部 教授)

参加費

無料

申込締切

10月30日(火) ※当日参加も可

メール、ホームページの申込フォームまたは裏面FAXより、必要事項(氏名、ふりがな、年代)を明記のうえお申込みください。

[申込先・お問い合わせ先]

長崎県立大学 シーボルト校 総務企画課企画グループ 〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1
TEL: 095-813-5500 FAX: 095-813-5220 Email: kikaku-g@sun.ac.jp

胎児性水俣病患者たちは 今

出生、苦難、希望、自立…そして

- 日程:平成30年11月3日(土・文化の日)
- 時間:13:30～15:00(受付13:00～)
- 場所:長崎県立大学シーボルト校 中央棟M103講義室
- 参加費:無料
- 申込締切:平成30年10月30日(火)※当日参加も可

メール、ホームページの申込フォームまたはFAXによりお申込みできます。
必要事項(氏名、ふりがな、年代)を明記のうえお申込みください。

FAX申込書

必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

メールでお申し込みの場合は下記事項を kikaku-g@sun.ac.jp までお送りください。

申込日	平成 年 月 日		
お名前 (複数名の場合は 全員分ご記入ください)	申込者	ふりがな	
		氏名	
		年代	(10代以下・20代・30代・40代・50代・60代以上)
	同行者1	ふりがな	
		氏名	
		年代	(10代以下・20代・30代・40代・50代・60代以上)
	同行者2	ふりがな	
		氏名	
		年代	(10代以下・20代・30代・40代・50代・60代以上)

[お問い合わせ先]

長崎県立大学 シーボルト校総務企画課企画グループ 〒851-2129 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

TEL:095-813-5500 FAX:095-813-5220 Email:kikaku-g@sun.ac.jp